

成果の説明書

(氏名) 唐澤達之	(学部) 経済学部
1 重要事項	
(1) 科学研究費助成事業基盤研究 (C)「近世ロンドンの給水事業に関する研究」(研究代表者:唐澤達之)による研究 2017年度より3年間、標記研究課題で科学研究費助成事業に採択された。近世ロンドンでは、他の都市に先駆けて、私的な給水事業会社が、巨額の資本金を調達して、テムズ川や新たに建設した水路及び貯水池から大量に汲み上げた水を水道管で個別世帯に供給するシステムを成立させた。本研究はこの歴史的意義を検討すること企図している。2018年度は、近世ロンドンの給水事業に関する文献の収集と研究史の整理を進めるとともに、8月下旬には、ロンドン市文書館 London Metropolitan Archives とイギリス国立公文書館 National Archives において、近世の給水事業会社に関連する史料の収集を行った。帰国後は、代表的な給水事業会社のひとつである Chelsea Water Works Company の会計記録のデータベース化、理事会議事録の転写を進めた。これらの史料を利用して、資本調達の方法と出資者の社会層、事業会社が提供するサービスの内容や給水の地理的範囲と収益の規模、顧客の社会層、企業の統治のあり方(主たるステーク・ホルダーたる出資者、経営者、サービスの享受者である都市住民等の利害がいかん事業運営に反映されたのか)等の点に留意しながら、Chelsea Water Works Company の経営分析を行った。この研究の成果は、2019年度にイギリス都市農村共同体研究会で報告し、学会誌に投稿する予定である。	
(2) 学会における活動 比較都市史研究会の幹事として、例会の企画運営、会誌『比較都市史研究』の編集刊行、会計の管理などに関わった他、学会運営のあり方について大きな改革を進めた。	
(3) 大学行政関連業務 副学長として、学内の種々の委員会を主宰し、全学的な観点から本学の改革・発展の推進に関わった。2018年度は特に、2017年度研究奨励費「基礎教育に関する研究」による研究(代表:唐澤達之)を踏まえて、基礎教育の一元化検討委員会において基礎教育センターの設立に関する答申をまとめた。FDSD委員会の委員長として、ピアレビューおよびFDSD研修会の実施に、また、ホームカミングデイ委員会委員長として、ホームカミングデイの実施に関わった。さらに、奨学奨励費審査会を主宰し奨学奨励費の支給基準の見直しを行った。これらの他に、県内の高校訪問、後援会の地方支部総会(北陸支部)への出席、出前授業(足利女子高等学校)の担当等を通じて、大学の広報活動にも関わった。	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負	
(1) 研究関連では、「1. 重要事項」(1)の研究をさらに進め、成果を発表することが大きな課題である。	
(2) 大学行政関連では、副学長として、第2期中期計画(2017年度~2022年度)の実施、認証評価により指摘された諸課題への対応など、全学的な観点から本学の改革・発展を推進することが大きな課題となる。また、「1. 重要事項」(3)の基礎教育センターの設立に向けての準備を完了させることが課題である。	